

議 事 録

会議名	平成26年度 第1回 文化財保護委員会会議		
日 時	平成26年6月23日（月）午後1時30分より	開催形態	公開
場 所	役場分庁舎会議室（電算会議室）		
出席者	委員：木村勇、玉園篤敏、入澤章、佐原慧、藤井孝 事務局：大澤教育長、米山教育総務課長、小林主査、奥谷主査 傍聴者なし		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長副会長の選出</li> <li>・報告事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成25年度文化財保護事業報告について</li> <li>(2) 平成26年度文化財保護事業計画について</li> </ul> </li> <li>・議題               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成26, 27年度文化財保護委員会活動予定について</li> </ul> </li> </ul>		
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.開会</li> <li>2.委嘱状交付</li> <li>3.あいさつ 大澤教育長</li> <li>4.自己紹介 各委員及び事務局</li> <li>5.会長、副会長の選出 事務局より、寒川町文化財保護条例施行規則第10条に基づき、委員の互選により会長、副会長を選出することを説明。 委員の互選により会長は木村委員、副会長は玉園委員に決定。</li> <li>6.報告事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成25年度文化財保護事業報告について 事務局より説明。</li> <li>(2) 平成26年度文化財保護事業計画について 事務局より説明。</li> </ul> </li> <li>7.議題           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成26, 27年度文化財保護委員会活動予定について 事務局より、1町指定重要文化財候補リストの作成について、2町指</li> </ul> </li> </ol>		

定重要文化財補助金の範囲について 2 年間の議題としていく趣旨を説明。

(委員) そのものにはさほど価値はないが、全体で価値のあるもの、たとえば藤沢市で商家の移築とか、有名人の生家とか、そういうのは寒川にはないが、もっと幅広い形で、リストにもつてもよいと思う。昔ながらの景観とか、そういうものを大切にしていかなければと思うがどうか。50 年前なら、なんの変哲の無いような富岡製紙とか時間がたって価値を生み出す。

(事務局) 指定文化財の一覧を見ていただくと、有形文化財の美術工芸が多く、天然記念物や、史跡、無形文化財が少ない。また地区的にもかたよりがある。また古文書などもあり、委員には幅広い形で候補の文化財をあげてもらい、その中で議論をし、最終的に指定候補リストを作成していただければと思う。

(委員) 安楽寺前の弁天池などあるが、昔は多くの田を潤した。だんだんと寒川の前風景を育んだものがなくなってきた。そういうものも含めて考えて、残すことも必要かなと。

(委員) 過去に自然系の文化財に対して研究をしたことがあった、樹木 1 本、樹木全体、さらに地域全体で保護が必要ではとなったが、その時はそれで終わった。

これからは、文化財を発端に、景観をのこせればと思う。条例を作る必要もあるだろう。文化財の仕事とは違ってくるが、町作りの中で景観を残していく、町が動かなければ、文化財から、そういう言葉を発してもよいのでは。

川崎などは、文化財といかないまでも、準文化財としてリストアップして記録をのこしたり、横浜などは昔の門構えなども文化財として指定している。そういうものを残していくような、幅広くリストアップをしていければと思う。

(委員) あくまで、リストアップで、今は指定されなくても、今後それが生きてくることもある。

それと、鎮守の森はあるが、まとまった里山がなくなった。そういうのも考えていいのでは。

(委員) 古い家を移築して、川崎、茅ヶ崎などは観光資源としたりしている。文化財的価値もあるが、寒川だと井上有一氏の昔の家が価値がある。井上氏の版権をもっている人が、土地さえ町が確保すればいわゆる井上有一記念館という話しもあったが、なかなか難しかった。文化財とは違うが、観光資源など、残す工夫が必要だと思う。そういう声がなか

なか町民の方からでてこない。たとえば寒川神社とタイアップしていくとか、資源はさがせばあると思うが、どこまでリストアップしたほうがよいのか、文化財に関係ないものはしないほうがよいのか、あるいは広くリストアップしておいて、後に考えていけばよいのか。

(委員) そういうことをすることによって、こういうものも文化財としてあるんだなど、大事にしないと、という思いが出てくるのでは。中身だけでなく周りも大切、文化財とは大きなものという気持ちがでてくると思う。

(委員) 資料を単体としてだけでなく群として見るのも重要だと思う。文書館の古文書調査をしているが、おもしろいものも見つかる。様々な地域性がわかるものもあり、群としてとらえ、指定とはいかないまでも調査するのも良いと思う。

それと、文化財=古いというイメージがある。大正、昭和の近い時代が抜けている。60年前の神社の太鼓橋の再興の資料も少なかった。近い時代なのでないがしろにされているところがあるので、近現代の資料をもう一回見る。一之宮の緑道の線路など良いと思う。子どもたちが今は遊んでいるだけだが、活用すれば昔の歴史を語れる。近い時代に目を向けると幅が広がるだろう。

(委員) 大正昭和の資料が少ないのは、関東大震災でダメになった。特に線路から南は全滅。祖父からきいたが、蔵がつぶれて、そのあと雨がふったので、全部すてた。そういう背景があった。

(委員) たしかに資料にかたよりのある。震災の時の写真なども後世にのこすのに重要。

(委員) かなりの資料が文書館にある。目録等みると寒川の明治大正昭和のうごきがわかる。

(委員) 歴史を大切にする意識が寒川では薄かった。首長さんをやった家に行っても資料が無い、無頓着に燃してしまった。過去をいってもしょうがないので、意識を啓発していかなければいけない。子どもたちに教えていかねばならない。行政全体で文化財をアピールしていかなければ。東京などは文化財ウィークなどを作ってアピールしている。文化財学習センターの利用状況を見ると、授業の利用がまだ少ない。もっと活用してもらって子どもたちにアピールしていく必要がある。

(事務局) 学習センターの授業の利用は、小学校3年生で旭小を除く小学校が、昔の暮らしを学びに来ている。昨年度は一之宮小学校の6年生に遺物を貸出したり、歴史の授業で見学に来ている。一小だけでなく、また中学生にも歴史の授業などで活用してほしいと思っている。

	<p>また、文化財の範囲としては、町文化財保護条例第2条に示されています。「景観」などは他に条例を作る場合もありますが、例にでた池などは「史跡、名勝」に入るかと思います。</p> <p>(委員) 拡大解釈でリストを作成できたらと思います。</p> <p>9. その他</p> <p>(委員) 予算は厳しいものがあるが、知恵でカバーしていきたい。</p> <p>10. 閉会</p> <p>玉園副会長</p>
<p>資 料</p>	<p>※ 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財保護委員名簿</li> <li>2 寒川町文化財保護条例及び施行規則</li> <li>3 平成25年度文化財保護事業報告について</li> <li>4 平成26年度文化財保護事業計画について</li> <li>5 平成26, 27年度文化財保護委員会活動予定について</li> <li>6 寒川町指定重要文化財一覧表</li> </ol>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>会長 木村 勇 (平成26年8月5日確定)</p>